

「MASP なんでも高座」

【発表内容概要】

2017年10月12日

氏名	手島 歩三(テシマ アユミ)	会社名	特定非営利活動法人技術データ管理支援協会
電話等	0467-51-1804 bis-arch@ae.auone-net.jp		
【テーマ】 (1)「私の履歴書」～人の側からITを理解し、利用することに取り組んで半世紀 (2)「人の能力を活かすIT:情報システム工学の課題～情報システムとソフトウェアの異質性」			
【ねらい】 (1) ITの使い方を抜本的に改革しましょう。現在のITは発達し、ビジネス、さらには社会に従来とは異質な影響を及ぼす水準に達しています。自動化と省力という意味の生産性向上では済ませられない情勢です。裸のAIやIOT,3DCAD/プリンタ導入では宝の持ち腐れに終わります。しっかりした基礎の上に、新技術を活用する仕組みを構築しましょう。			
【内容】 (1)「私の履歴書」 出身地・学生生活・日本ユニシス・(有)ビジネス情報システム・アーキテクト、MASP ▼原点 初期のコンピュータをソフトウェア技術者として担当し、使い方に疑問を感じた。 ▼経歴 製造業SEサービス、生産管理パッケージ開発、ソフトウェア開発&システム開発方法論整備、ユニシス・アーキテクトチャ整備、情報システム構造改革支援、MASP技術整備、情報処理学会・情報システム教育委員、総務省電子自治体のあり方研究会委員など ▼賞罰 日本規格協会より194年度標準化文献奨励賞「気配り生産システム」 ▼コンサルティング実績 ①セイコーエプソン・ウオッチ事業体系再構築、オリンパス医療機器情報システム・アーキテクトチャ企画、日産自動車・新生産方式企画、第二電電・PHS事業システム構築推進 ②KDD・システム統合企画、JFEスチールおよび関連企業システム統合企画 (2)「人の能力を活かすためのIT:情報システム工学」のすすめ ①動機:情報処理を考える前に、経営に役立つ情報とは何か考える必要がある ②国際的なIT教育分野:CS, CE, SE, IS, IT ③ビジネス・モデルに直結する基幹系システム ④変わり続ける組織、変わり続ける情報システム ⑤組織が持つ知識と知恵を活用するための仕組み ⇒知的生産性向上、付加価値の向上			
【自己紹介】 手島 歩三(テシマ アユミ) 岡山大学理学部数学科卒 日本レミントン・ユニバック(現日本ユニシス)を経て(有)ビジネス情報システム・アーキテクト設立、MASPコンソーシアム(現技術データ管理支援協会)の設立に参画 SPBOM/FBOM、「なりゆきスケジューラ」の企画と設計に携わる。また、ビジネス組織の情報システム構築企画あるいは構造改革企画に携わる。 日本生産管理学会、スケジューリング学会、プロジェクト&プログラム・マネジメント学会の会員			
【アピールポイント】 ① システミック表現、What/If思考 ② 磯釣り、溪流釣り、芋煮会、家庭菜園			

以上